

# 中央麓地区 そば切り踊り保存会



そば切り踊りで  
吾平の伝統をつなぐ

吾平町の「そば切り踊り」は約120年前から伝わる、そばを作るところから食べるまでの様子を表現した踊りです。「中央麓地区そば切り踊り保存会」の活動は、地域の風土や伝統を生かして青少年を育てる「かこしま地域塾」の「優れた地域塾」として、令和2年に認証されました。

「そば切り踊り」は昭和30年代まで活発に踊られていましたがその後途絶え、昭和50年代に一度復活はしたものの、それもまた途絶えてしまいました。そして平成13年、踊りを知る人々を中心とする「中央麓地区そば切り踊り保存会」が設立。平成22年、メンバーの高齢化という事情もあって、若い世代で踊りを継承しようと中央麓地区子ども会に踊りが引き継がれました。現在、保存会のメンバーは、中央麓地区子ども会に所属する子どもたち約20人を中心に構成。毎年7月頃から月に数回程度練習を重ね、地域のイベント等で踊りを披露しています。練習では子どもたち同士で考え、学年を超えた交流ができています。これからも伝統を新しい世代に伝えながら、地域で子どもたちを育む活動を続けていきます。

中央麓地区そば切り踊り保存会  
かりやみほこ 理事  
假屋 美穂子 理事

吾平町出身で、吾平町文化協会の副会長も務める。とにかく動くことが好きで、地域活動に積極的に参加する。「父のような優しさと、母のような強さを持って困難を乗り越えていきたい」と力強く地域づくりへの思いを語る。



昨年の11月に行われた「美里あいら文化祭」の様子。地域の福祉施設へ慰問に行ったり、町内会のイベントで踊りを披露したりするなど、できるだけステージに立って、たくさんの人の前で踊る場を作っている。

## Contents 目次

- 4 **特集** Special Feature  
空き家のこと、考えてください。
- 10 **Hot News**  
まちなおしごと 「三和物産㈱」
- 12 まちなおしごと 「三和物産㈱」
- 14 そうだ山に、行こう。
- 16 マイナ保険証でより良い医療を
- 17 「漏水かな?」と思ったら
- 18 **インフォメーション**  
Information
- 22 放課後は **別** の顔 / タイム トラベル
- 23 のかけ橋 「清水 雄基 さん」
- 24 読者のひろば
- 25 カノヤノリセツ
- 26 **健康** らいふ
- 27 広告のひろば
- 28 プレゼント / MOVIEでかのや / 映画情報

## 今月の表紙

### 幸せを呼ぶブルービー

ダマスクの風(小薄町)には、通称ブルービーと呼ばれるルリモンハナバチが飛来します。「幸せを呼ぶ青い蜂」として知られるこの蜂は、地域によっては絶滅危惧種に指定されるなど希少性が高く、未だに生態系については詳しく分かっていません。この写真は、7月に職場体験として広報の仕事を経験した鹿屋女子高校の生徒が撮影したものです。



## 統計情報 令和6年6月1日現在 (前月比)

- ・人口 / 97,702人 (- 63)
- ・世帯 / 46,207世帯 (- 15)
- ・男性 / 46,790人 (- 29)
- ・面積 / 448.15km<sup>2</sup>
- ・女性 / 50,912人 (- 34)



## 鹿屋市広報

	市ホームページ			市公式フェイスブック	
	市公式LINE			市総合アプリ「かのやライフ」	
	市政インフォメーション FMかのや (77.2MHz) 平日 8:05 ~ & 16:05 ~			マチイロ (広報誌閲覧アプリ)	
	かのやファン倶楽部				